

平成26年度第2四半期 資金管理料金特別会計 収支計算書(案)の説明書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

資料3-5

◎金額の表示について：百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値と一致しない。金額がないものは「-」、金額はあるが単位未満のものは「0」で表示している。なお、金額がマイナスの場合は「△」で表示している。

◎想定進捗率について：年度当初に想定した当期の年度予算に対する進捗率である。

◎*を付した[]内の数値については、収支計算書には計上されないが、新規科目の計上及び計上科目の変更を反映した場合の年度予算及びそれに対する進捗率を示している。

(単位：百万円)

科 目	平成26年度2Q				平成25年度2Q	決算対前年度差異			予算との比較	平成25年度同期実績との比較										
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)	予算との比較		平成25年度同期実績との比較										
I 事業活動収支の部																				
1. 事業活動収入																				
① 特定資産運用収入 情報システム刷新準備資金運用収入	1	[2]	[46%]	[40%]	-	1	-													
② 事業収入 資金管理料金収入	968	1,804	54%	42%	998	△ 30	97%	○ 預託台数が予算想定を上回ったため、資金管理料金収入は想定進捗率を上回った。(資料3-2を参照) <預託台数>												
輸出取戻し手数料収入	272	445	61%	53%	283	△ 12	96%	○ 輸出返還台数が予算想定を上回ったため、輸出取戻し手数料収入は想定進捗率を上回った。(資料3-2を参照) なお、輸出取戻し手数料収入の進捗率は53%と想定した。その理由は、返還台数の想定進捗率50%に対し、第1四半期の手数料単価は全て旧単価(@440)による返還と想定したことによる。 また、新旧単価の内訳は下表のとおりであり、本第2四半期のPC申請の新単価での返還割合は78%(予算想定時50%)となった。 <申請区分別輸出返還台数>												
事業収入計	1,240	2,249	55%	44%	1,281	△ 42	97%													
③ 補助金等収入 承認済特定再資源化預託金等収入	-	7	-	0%	111	△ 111	-	○ 承認済特定再資源化預託金等収入は、予算想定通り第2四半期の発生はなかった。 なお、本年度の承認済特定再資源化預託金等収入は、番号不明被災自動車処理費用に充てられる金額のみであり、第4四半期に申請する予定である。												
④ 負担金収入 自動車製造業者及び日本自動車輸入組合からの負担金収入	383	875	44%	46%	491	△ 109	78%	○ 自動車製造業者及び日本自動車輸入組合が負担する支出が予算想定を下回ったため、これと連動して負担金収入も想定進捗率を下回った。 <負担金収入の内訳>												
⑤ 雑収入 有価証券運用収入	1	[2]	[34%]	[36%]	1	△ 0	77%	○ 余裕資金の国債運用による利息収入(65万円)である。債券の利回り実績が予算想定時を下回ったこと及び当科目にて計上していた情報システム刷新準備資金の利息収入を、実績は「特定資産運用収入」に計上したことにより想定進捗率を下回った。 なお、余裕資金の利息収入のみの予算額、予算進捗率及び想定進捗率は平成26年度2Q欄の[]内の数値となった。												
事業活動収入計	1,624	3,134	52%	45%	1,891	△ 268	86%													

◎金額の表示について：百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値と一致しない。金額がないものは“-”、金額はあるが単位未満のものは“0”で表示している。なお、金額がマイナスの場合は“△”で表示している。

◎想定進捗率について：年度当初に想定した当期の年度予算に対する進捗率である。

◎*を付した[]内の数値については、収支計算書には計上されないが、新規科目の計上及び計上科目の変更を反映した場合の年度予算及びそれに対する進捗率を示している。

(単位：百万円)

科 目	平成26年度2Q				平成25年度2Q	決算対前年度差異			予算との比較	平成25年度同期実績との比較
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率(a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)			
2. 事業活動支出										
① 事業費支出										
新車購入時預託関連費支出	460	854	54%	42%	456	4	101%	○新車購入時預託台数が予算想定を上回ったため、新車購入時預託関連費支出は想定進捗率を上回った。	○新車購入時預託台数は減少したものの、消費税率引き上げに伴い委託手数料支出が増加したため、平成25年度同期実績を若干上回った。	
引取時預託関連費支出	24	61	40%	49%	33	△ 9	73%	○定常支出項目については、引取時預託台数が予算想定を下回ったため、想定進捗率を下回った。 また、非定常支出項目である東日本大震災による番号不明被災自動車処理費用については、預託台数実績が81台と予算想定台数200台を下回ったため、想定進捗率を下回った。 <引取時預託関連費支出の内訳>	○定常支出項目については引取時預託台数が減少したため、平成25年度同期実績を下回った。 また、非定常支出項目である東日本大震災による番号不明被災自動車処理費用についても、預託台数実績が減少(741台→81台)したため、平成25年度同期実績を下回った。 <引取時預託関連費支出の内訳>	
輸出取戻し事業費支出	257	402	64%	49%	231	26	111%	○輸出返還台数が予算想定を上回ったため、輸出取戻し事業費支出は想定進捗率を上回った。	○輸出返還台数が増加したため、平成25年度同期実績を上回った。	
システム関連費支出	257	596	43%	44%	332	△ 75	77%	○概ね予算想定通りであった。	○平成25年度はデータセンター移行に伴う支出が発生したが、本年度は同支出の発生がなく、平成25年度同期実績を下回った。 <システム関連費支出の内訳>	
サポート業務運営委託費支出	245	544	45%	48%	475	△ 230	52%	○データセンター運営費支出は、概ね予算想定通りであった。 また、コンタクトセンター運営費支出は、コンタクトセンターの間合せ及び並行輸入車等のリサイクル料金設定対応の件数が予算想定を下回ったため、想定進捗率を下回った。 <サポート業務運営委託費支出の内訳>	○データセンター運営費支出は、平成25年度はデータセンター移行に伴う支出が発生したが、本年度は同支出の発生がなく、平成25年度同期実績を下回った。 また、コンタクトセンター運営費支出は、コンタクトセンターの間合せ及び並行輸入車等のリサイクル料金設定対応の件数が平成25年度同期実績を下回ったため、平成25年度同期実績を下回った。 <サポート業務運営委託費支出の内訳>	
理解普及活動費支出	6	32	18%	15%	5	1	110%	○理解普及活動費支出の内訳は、下表の通りであり、概ね予算想定通りであった。 <理解普及活動費支出の内訳>	○自動車教習所での活動に係る支出が増加したため、平成25年度同期実績を上回った。 <理解普及活動費支出の内訳>	
資金運用管理費支出	1	3	50%	50%	1	0	103%			
その他の事業費支出	135	284	48%	50%	144	△ 9	94%	○概ね予算想定通りであった。	○主として、平成25年度に退職者が発生したことにより、平成25年度同期実績を下回った。	
事業費支出計	1,385	2,775	50%	45%	1,677	△ 292	83%			

◎金額の表示について:百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値と一致しない。金額がないものは'-'、金額はあるが単位未満のものは'0'で表示している。なお、金額がマイナスの場合は'△'で表示している。

◎想定進捗率について:年度当初に想定した当期の年度予算に対する進捗率である。

◎*を付した[]内の数値については、収支計算書には計上されないが、新規科目の計上及び計上科目の変更を反映した場合の年度予算及びそれに対する進捗率を示している。

(単位:百万円)

科 目	平成26年度2Q				平成25年度2Q	決算対前年度差異		予算との比較	平成25年度同期実績との比較
	決算(a)	年度予算(b)	予算進捗率 (a)/(b)	想定進捗率	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)		
② 管理費支出									
管理費支出計	58	145	40%	43%	53	6	111%		
事業活動支出計	1,444	2,919	49%	45%	1,730	△ 286	83%		
事業活動収支差額	180	215	-	-	162	19	-		
II 投資活動収支の部									
1. 投資活動収入									
投資活動収入計	-	-	-	-	3	△ 3	-		
2. 投資活動支出									
① 特定資産取得支出									
退職給付引当資産取得支出	4	7	48%	50%	5	△ 2	65%		
情報システム刷新準備資金積立支出	1	400	0%	0%	-	1	-		
特定資産取得支出計	4	407	1%	1%	5	△ 1	81%		
投資活動支出計	4	407	1%	1%	5	△ 1	81%		
投資活動収支差額	△ 4	△ 407	-	-	△ 2	△ 2	-		
III 財務活動収支の部									
1. 財務活動収入									
財務活動収入計	-	-	-	-	-	-	-		
2. 財務活動支出									
財務活動支出計	-	-	-	-	0	△ 0	-		
財務活動収支差額	-	-	-	-	△ 0	0	-		
IV 予備費支出									
当期収支差額	176	△ 282	-	-	159	17	-		
前期繰越収支差額	3,931	3,956	-	-	4,473	△ 542	-		
次期繰越収支差額	4,107	3,673	-	-	4,632	△ 525	-		

○ 利息収入を本財団「特定費用準備資金等取扱規程」に基づき積み立てた額である。(「特定資産運用収入」参照)
 なお、本年度の計画に基づく積立は、第4四半期に実施する予定である。

○ 当期収支差額は新車預託台数及び輸出返還台数の増加等により176百万円となった。

○ 当期収支差額は輸出返還台数の増加、データセンター移行完了による支出の減少等により平成25年度同期実績を上回った。